

西要寺だより

第112号 令和6年1月14日



年が改まりました。ご門徒の皆様におかれましては、どのような新年を迎えられましたか。本年も宜しく願いいたします。

1月1日には能登半島地震がありました。このあたりも揺れましたね。私も揺れの時間の長さ、大きさに驚きました。

能登半島地震におきまして被災された皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、今回の「西要寺だより」では、ご門徒の皆様のお勤め、法事・月参り・お墓のお勤めなどについてのお話をします。

●ご門徒の皆様のお勤め

(1) 法事（年忌法要・満中陰法要）について

お寺の法要・行事がある場合は、それを最優先します。年間行事予定等のご案内をご覧のうえ、皆様おそろいで西要寺本堂にお参りください。

本来、法事のご命日に営むものですが、家の方のご都合により、施主様とお寺で日程調整します。土曜日・日曜日・祝日には法事が集中します。土・日・祝日にご法事を希望される場合は、早い目に日程を言っていただくとご希望に添えることが多いと思います。3ヵ月前を目安にご相談ください。ただし、葬儀のように急を要する儀式などが入ってきた場合は、事前にお約束したご法事でも、時間をご融通いただくことがあります。



満中陰法要の場合は、先約との調整が必要ですのでご注意ください。

(2) 月参りについて

亡くなられた方の命日が3月7日の場合は、毎月7日（あるいは前日の6日）にご門徒宅までお参りに伺っています。ご門徒様によっては、お仕事の都合で日曜日や土曜日に月参りに伺う場合、午後に伺う場合もあります。なるべくご希望に添うように考えますので、ご相談ください。原則的に朝は午前9時より伺っています。

土・日・祝日にはご法事の依頼が集中し、ご希望通りのお参りが困難な場合もあります。また、住職の都合により、日程・時間変更などでご迷惑をおかけする場合がありますが、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。なお、1月1日～5日、8月16日～19日、12月30日31日は月参りをお休みさせていただきます。繰り上げてのお参りを希望される門徒様は、年末年始の場合は12月中下旬に、8月の場合は8月上旬にお参りに伺うことができますので、ご相談ください。

（３）お盆・お彼岸のおつとめについて

西要寺の場合、8月13日・14日・15日の3日間、盂蘭盆会法要をお勤めします。毎年、多くの門徒様がお参りに来られます。ご家族、また子どもさんや孫さんも含めて一家（一族）でお参りに来られる場合もあります。初盆のお宅には8月上旬よりお参りに伺います。それ以降は、原則的に盂蘭盆会法要に来ていただく、というようにしております。

詳細については、西要寺までお問い合わせください。

なお、お彼岸に関しては、その都度、ご相談ください。

（４）遷仏(せんぶつ)法要・入仏法要について

お仏壇の引っ越しや買い換えの場合は、「遷仏法要」が必要となります。一般的には「お性根（しょうね）抜き」と言ったりしますが、お仏壇に「魂が宿っている」わけではありません。如来様やご先祖は阿弥陀様の浄土の世界にいらっしゃいます。お仏壇を通して、お浄土を拝ませてもらっているのです。ただ、普通の家具のように移動させることは避けてもらいたいです。聖なるお仏壇ですから、移動前には「遷仏法要」が必要となります。買い換えの時も同じです。



お仏壇の移動後は、「入仏法要」を行います。新たな家に「如来様をお迎えする」法要です。新たにお仏壇を求めた場合も同じです。詳細につきましては、ご相談ください。

また、お仏壇を安置する場所について、床の間があるお宅の場合は、床の間にお仏壇を安置していただけたらいいのですが、昨今の住宅には床の間がない場合が多いので、お仏壇を安置する場所について悩まれる

場合があります。

お仏壇は西を向いて拝む位置がいいとか言われてきましたが、落ち着かない場所や、滅多に家族の方が行かない部屋に安置するのは避けていただきたいものです。出来れば、リビングの次の間、家族の皆様が拝みやすく落ち着いた場所が望ましいです。

お仏壇の向きについては西を向いて拝むのが望ましいですが、それにこだわることもないでしょう。その都度、ご相談ください。

(5) お墓の法要について

新たにお墓を建立される場合は、「建碑法要」が必要となります。また、先祖伝来のお墓をお持ちで、そのお墓に納骨される場合は「納骨法要」を執り行います。神戸市北区・三田市・川西市・大阪府など各方面に「建碑法要」「納骨法要」、また「墓じまい」にも伺っていますので、気軽にご相談ください。

●お聴聞のおすすめ～門徒様のための法要～

肉親とのお別れ、亡くなられた方との関係が深ければ深いほど、死を受け入れることはなかなか難しいことでしょう。そこで、仏様の教えに触れていただきたく存じます。仏様のところに触れ続けることによって、死別の孤独や悲しみを包み込む仏様のお慈悲の世界が広がっていることに気づかされていくことでしょう。

年を重ねていき、仕事も退職され、仲の良かったご友人にも先立たれ、年々寂しくなってきました、といわれる方がおられます。西要寺では毎月22日午後2時より、法要をお勤めしています。どうぞ、お参りください。西要寺とご縁の無い方でも大歓迎ですので、気軽にお参りください。

西要寺一道会も随時、入会募集中ですので、気軽にお問い合わせください。



11月22日の法要の様子↑↓



●定例法座のご報告

まず、11月22日には兵庫教区の青年僧

侶会に来ていただき、法話と雅楽の演奏を聴かせていただきました。なかなか、雅楽の生演奏を聴く機会がないので、ご参詣の皆様は熱心に聴いておられました。

また、12月22日の定例法座には、午後2時よりお勤めをし、続いて、浄土真宗本願寺派総合研究所研究員 林龍樹師による法話を聴聞しました（右 写真）。



今年も、以下の「西要寺行事予定」にあるように西要寺本堂において法座をお勤めしますので、お誘い合わせのうえ、お参りください。

◎西要寺行事予定◎

【定例法座】

2月22日（木）午後2時より

講師：西要寺住職

場所：西要寺本堂

【定例法座】

3月22日（金）午後2時より

講師：未定

場所：西要寺本堂

ホームページ（saiyouji.com）



または ^{さいようじ}西要寺 と検索ください。

浄土真宗本願寺派

^{さい}西 ^{よう}要 ^じ寺

661-0024 尼崎市三反田町1-7-27

TEL 06-6429-8241